

平成 28 年度 事業報告

平成 28 年度は、これまでの取組みの成果を生かし、「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の開催や、平泉の世界文化遺産登録 5 周年など、タイムリーな話題を捉えた情報発信に加え、北海道新幹線開業を契機とした誘客強化にも積極的に取り組んだところであり、観光庁の宿泊旅行統計調査による平成 28 年の岩手県の延べ宿泊者数は、前年と同程度に推移している。

一方、外国人観光客については、岩手と台湾を結ぶチャーター便の継続運航や県、関係機関等のプロモーション活動の展開により、台湾からの入込を中心に、他の市場もあわせ、外国人延べ宿泊者数は過去最高となっているところであるが、全国との比較では東北全体が引き続き厳しい状況にあり、海外に向けた誘客活動の更なる強化が課題となっている。

こうした状況の中、当協会は、県や関係機関と連携して大都市圏での観光 PR の実施や誘致説明会の開催、沿岸地域を視察対象とする旅行会社の招請事業や魅力ある観光地づくり支援事業を実施し、地域の特色を生かした取組みを支援したほか、台風 10 号で被災した観光施設等の復興を図るため、風評被害払拭に向けた情報発信などにも取り組んだ。

また、教育旅行の誘致拡大を図るため、北海道（函館市・札幌市）、東京都及び大阪府において誘致説明会を開催するとともに、訪問活動を行った。

更に、国際観光の分野においては、台湾観光客に加え、訪日旅行者が急増しているタイへの情報発信のため、現地メディアの招請事業や外部資金を活用した外国人観光客の受入態勢整備に向けた指導事業を実施するなど、海外からの誘客拡大に取り組んだ。

その他の事業においても、県や市町村及び各観光協会並びに観光関係団体と連携し、本県の魅力ある観光資源の宣伝と観光客の誘致拡大に取り組んだ。

I 【 情報発信 】

1 観光情報高度化推進事業

(1) 観光情報高度化推進事業

岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」の管理運営を行い、各種祭りやイベント、桜等の季節の情報はじめ、「平泉」世界文化遺産登録5周年記念特集や、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の期間中に運行された沿岸地区等へのバスツアーの特集ページを掲載したほか、台風10号の復興支援として「龍泉洞営業再開」の情報発信に努めた。

また、トップページにバナー広告を募集し掲載した。(4～6月10社、7月～9月10社、10月～12月10社、1月～3月7社掲載)

年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
アクセス件数 (対前年度比)	2,558,466 件 (6.4%増)	3,163,307 件 (23.6%増)	2,557,610 件 (19.1%減)

(2) 観光情報システム分担金事業

(公社)日本観光振興協会のHP“全国観るなび”を利用して、本県の観光情報を発信した。

2 パブリシティ有効活用事業

「世界遺産の國、いわて。観光キャンペーン」及び「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会観光キャンペーン」の一環として、本県の観光情報について、東北各県及び首都圏を対象として情報発信した。

掲載年月日	雑誌等広告媒体名	発行部数等	内 容
H28. 7	Hanako(7月号) (株)マガジンハウス 発行	9万部(首都圏)	・「世界遺産の國、いわて。観光キャンペーン」PR(世界遺産「平泉」と「橋野鉄鉱山」及び周辺の観光スポット、グルメの紹介)
H28. 9	るるぶFREEドライブ東北(秋号) (株)JTBパブリッシング 発行	5万部(東北6県)	・「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会観光キャンペーン」PR(岩手の紅葉スポット及び秋の味覚の紹介)
H28. 9	タウン情報誌7誌 (10月号) (アキュートほか)	18万部(東北6県及び 栃木県)	・「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会観光キャンペーン」PR(岩手の紅葉スポット、温泉及び地酒の紹介)

その他、FMラジオ・もりおかの情報発信番組「ひるもり」(平成28年5月9日スタート、月～木曜日11:35～13:58)に5月から月1回、計11回出演し、県内の観光情報をPRした。

3 観光宣伝媒体作成事業

○ 岩手県観光案内図の作成

本県への観光客の誘致拡大を図り、また「希望いわて国体・希望郷いわて大会」の関係者、

応援される方々へ配布するため、「いわて旅地図」を作成した。

- ・ いわて旅地図（作成部数 300,000 部）

○ 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会来場者向け情報誌の作成

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会を機に来県する選手、大会関係者及び観覧者等に対して、岩手の魅力を伝えるとともに、飲食や購買等を促すことを目的として、大会会場周辺の観光スポットや飲食店、土産物情報等を提供する情報誌を県内9つのエリア毎に作成し、関係機関へ配付した。（希望郷いわて国体・希望郷いわて大会来場者向け情報発信事業補助金活用／岩手県政策地域部政策推進室）

- ・ 発行部数 118,000 部（内訳／単位：千部＝盛岡 25、岩手郡 20、花巻・遠野 11.5、県南 17.5、北上・西和賀 10、沿岸南部 11、沿岸北部 8、久慈 8、二戸 7）
- ・ 配 付 先 県及び県内全市町村の国体・大会・観光担当部署、観光協会、県内主要駅、道の駅、宿泊施設 計 797 箇所

4 観光キャラクター活用事業

岩手県のPRキャラクター“わんこきょうだい”のグッズを各種観光キャンペーン等において配布するとともに、県内外に販売し、岩手県の観光イメージのPRを図った。

- ・ 販売個数 わんこきょうだい携帯ストラップ 1,783 個
わんこきょうだいシール 14 枚
わんこきょうだい缶バッジ 1,816 個
そばっちぬいぐるみ 216 個
そばっちぬいぐるみストラップ 1,456 個

Ⅱ【国内誘客対策】

1 観光客誘致促進事業

(1) 観光客誘致説明会

大都市圏の旅行会社の旅行商品造成・仕入担当者等に対して、岩手県の魅力ある観光資源を紹介・宣伝するとともに、本県への観光客誘致拡大を図るため、いわて観光キャンペーン推進協議会との共催で、東京・名古屋・大阪の3会場において、岩手県観光客誘致説明会を開催した。

会 場	実 施 日	参加状況
東京会場 中野サンプラザ	H28. 9. 14	旅行会社（15 社 34 名）、岩手県側（54 名） 専務理事参加
名古屋会場 名鉄ニューグランドホテル	H28. 11. 14	旅行会社（12 社 21 名）、岩手県側（51 名） 専務理事参加
大阪会場 ホテル大阪ベイタワー	H28. 11. 15	旅行会社（12 社 33 名）、岩手県側（53 名） 専務理事参加



全体説明会（東京会場）



個別商談会（大阪会場）

(2) エージェント招待事業

沿岸地域の観光客誘致拡大を図るため、旅行エージェント職員を招待して、沿岸地域の景勝地、東日本大震災津波の復興状況及び平成 28 年台風 10 号の被災状況等を視察、確認するとともに観光事業者等との商談会・意見交換会を行った。

実施日	招待者	主な視察先等
H28. 11. 8 ～11. 10 (2泊3日)	(株) J T Bメディア リテーリング (北海道、東京、名古屋、大阪及び九州各支店職員 5 名)	・久慈市（ビストロくんのこ、やませ土風館、三陸鉄道レトロ列車） ・岩泉町（龍泉洞） ・田野畑村（北山崎、机浜番屋群、ホテル羅賀荘泊〔意見交換会開催〕） ・宮古市（グリーンピア三陸みやこ、学ぶ防災、浄土ヶ浜パークホテル、浄土ヶ浜レストハウス、浄土ヶ浜） ・大船渡市（おさかなセンター、基石海岸穴通磯） ・陸前高田市（奇跡の一本松） ・大槌町（三陸花ホテルはまぎく泊〔意見交換会開催〕） 専務理事参加



意見交換会（ホテル羅賀荘）



商談会（三陸花ホテルはまぎく）

2 教育旅行誘致促進事業

教育旅行の誘致拡大を図るため、主要なターゲットである北海道函館市、札幌市及び東京都並びに大阪府において誘致説明会を開催したほか、学校、旅行会社等への訪問活動を通じ、本県の教育旅行の受入態勢について紹介宣伝を行った。

ア 岩手県修学旅行誘致説明会

開催地	実施日	参加状況
東京会場(ホテルメトロポリタンエドモント)	H28. 8. 25	来賓（2団体4名）、首都圏の中学校の担当教諭（2校4名）及び旅行会社等の教育旅行担当者（3社7名）、岩手県側（68名）、安藤部会長及び専務理事参加
函館会場(フォーポイントバイシェラトン函館)	H28. 9. 6	函館市内の旅行会社等の教育旅行担当者（5社9名）、岩手県側（75名）、安藤部会長及び専務理事参加
札幌会場(ホテルポールスター札幌)	H28. 9. 7	来賓（1団体1名）、札幌市及び周辺の中学校の担当教諭（6校8名）及び旅行会社等の教育旅行担当者（7社15名）、岩手県側（74名）、安藤部会長及び専務理事参加
大阪会場(ホテル大阪ベイタワー)	H28. 12. 21	来賓（3団体4名）、関西圏の中学校・高等学校の担当教諭（3校3名）及び旅行会社等の教育旅行担当者（7社23名）、岩手県側（53名）、安藤部会長及び専務理事参加



学校個別相談会（札幌会場）



商談会終了後の頑張ろう三唱（大阪会場）

イ 訪問活動

① 首都圏

実施日	訪問先	訪問者
H28. 7. 19 ～ 7. 20	来賓（2団体）、首都圏の中学校及び高等学校（5校）、東京都内の旅行会社（5社）	7名（県観光課、県東京事務所、教育旅行誘致宣伝部会幹事長、同首都圏支部、事務局）

② 北海道

実施日	訪問先	訪問者
H28. 7. 25	来賓（1団体）、北海道教育庁、札幌市教育委員会、札幌岩手県人会、札幌市内の旅行会社（5社）	4名（県観光課総括課長及び特命課長、教育旅行誘致宣伝部会幹事長、事務局）

H28. 8. 9	函館市内の旅行会社（５社）	２名（教育旅行誘致宣伝部会幹事、事務局）
-----------	---------------	----------------------

③ 大阪府

実施日	訪 問 先	訪 問 者
H28. 10. 11 ～10. 12	来賓（３団体）、大阪府教育庁、大阪市内の旅行会社（６社）	４名（県観光課、県大阪事務所、教育旅行誘致宣伝部会幹事長、事務局）

Ⅲ【受入態勢整備】

１ いわての観光サポート事業

(1) 「いわて観光おもてなしセンター」管理運営

協会内に「いわて観光おもてなしセンター」を設置して、手紙、電話及びメール等により寄せられる本県の観光に係る苦情、意見・提言等に対応した。

ア 苦情等対応状況

区分	件数	主 な 内 容
意見	４件	① お祭りの撮影マナーについて ② 沢登りコースにあるゴミ処理について ③ 台風 10 号の被害情報について ④ 「いわて旅地図」について
要望	４件	① 岩手県観光協会ウェブサイトについて ② そばっち LINE スタンプ発売への要望 ③ 「いわて旅地図」への EV 充電スタンドの掲載要望 ④ いわて花巻空港の主要路線である伊丹線・新千歳線のダブルトラック化とナイトステイ実施への要望
苦情	１件	① 日帰り入浴を利用した際の対応等について
その他	１件	① アンテナショップについて
計	10 件	

イ 観光情報等問合せ状況

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
観光相談	1, 634 件	1, 878 件	1, 576 件
資料送付	1, 078 件	1, 074 件	813 件
合 計	2, 712 件	2, 952 件	2, 389 件

(2) 「V」案内所運営等観光情報提供事業

国際観光振興機構の指定（H16. 3. 26）を受けて当協会事務局内に設置している「V」案内所において、外国人旅行客に対して観光情報を提供するとともに、国内旅行客に対しても観

光情報を提供するため嘱託職員 1 名を配置している。

区 分	平成 28 年度
問合せ別件数	窓口： 7 件 電話： 0 件 FAX： 0 件 電子メール： 10 件
内 容 別 件 数 (重複あり)	イベント・個人旅行・観光一般： 8 件 印刷物： 8 件 交通： 0 件 宿泊： 1 件 食事： 1 件 娯楽： 0 件 生活、その他一般： 4 件

2 いわて・盛岡広域観光センター運営

本県の観光情報の提供を行い、本県を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、J R 盛岡駅 2 階南口にあるいわて・盛岡広域観光センターの運営経費の一部を助成した。

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
来 訪 件 数	20,596 件	19,108 件	25,929 件
電 話 ・ 書 面	669 件	538 件	595 件
宿 泊 案 内	921 件	1,001 件	957 件

3 観光土産品改善事業

平成 26 年度及び平成 27 年度に推奨した観光土産品に、推奨シールの販売を行った。また、ホームページ「岩手県観光ポータルサイト “いわての旅”」に推奨観光土産品を紹介した。

販売推奨シール枚数 107,000 枚

4 ボランティアガイド育成事業

県内各地で活動する観光ボランティアガイドのガイド技術の向上とボランティアガイド団体相互のネットワーク化を目的に設立した「岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会」(事務局：(一社)宮古観光文化交流協会、加入団体 24 (支援・サポート団体 12) に支援を行った。

5 観光業務優良従事者表彰

観光業務に従事する職員の意欲の高揚と資質の向上を図るため、「いわて観光の日」事業として、優良従事者表彰を行った。理事長及び専務理事参加

- ・ 期 日 平成 28 年 5 月 16 日 (月)
- ・ 会 場 ホテルメトロポリタン盛岡
ニューウイング
- ・ 被表彰者 27 名 (以下のとおり)



《宿泊・観光施設関係》 12名

推薦団体名	所属団体名	氏 名
(一社) 宮古観光文化交流協会	休暇村陸中宮古	坂 本 克 栄
		畠 山 り つ
(一社) 花巻観光協会	花巻温泉株式会社	渡 辺 健
	株式会社新鉛温泉	猪 岡 十 和
(一社) 遠野市観光協会	株式会社遠野	鳥 羽 貴美子
(一社) 一関観光協会	株式会社石橋ホテル	千 葉 敏 則
東山町観光協会	有限会社げいび観光センター	佐 藤 清 文
		岩 渕 享 一
	有限会社げいびレストハウス	佐 藤 勝 之
		佐 藤 恵 美
洋野町観光協会	洋野町ふるさと交流館	小茅生 真理子
		外久保 美 雪

《交通機関関係》 14名

推薦団体名	所属団体名	氏 名
(一社) 宮古観光文化交流協会	三社自動車株式会社	光 山 洋 治
(一社) 大船渡市観光物産協会	合資会社菅野商店	高 松 睦 男
(一社) 奥州市観光物産協会	有限会社水岩観光タクシー	村 上 久 男
		川 口 満
		吉 田 修
		安 倍 三 蔵
		千 葉 敏
		千 田 正 勝
	株式会社江刺タクシー	宍 戸 孝 美
(一社) 一関観光協会	株式会社県南タクシー	千 葉 新 平
東山町観光協会	東磐交通株式会社	菅 原 正 志
		小野寺 俊 寿
(公社) 岩手県バス協会	株式会社北都交通	愛 澤 俊 幸
		鈴 木 洋 子

《その他、観光関連施設関係》 1名

推薦団体名	所属団体名	氏 名
(一社) 一関観光協会	世嬉の一酒造株式会社	佐 藤 はしめ

6 「おもてなしの心」向上研修事業

観光客を迎える接遇の向上を目指す「おもてなしの心向上研修会」を実施するとともに、賛助会員が主催する接遇研修会に講師として「いわて観光おもてなしマイスター」を派遣する「接遇研修会講師派遣事業」を行った。また、平成25年度から平成27年度実施した「トヨタ生

産方式によるコンサルテーション事業」で現地指導を受けた団体を対象に、改善活動勉強会を行った。

ア おもてなしの心向上研修会

日本観光振興協会の支援事業（全国広域観光振興事業「日本観光振興アカデミー」平成28年度観光地域づくり・人材育成研修）を活用して実施した。

- ・ 実施日 平成28年9月2日（金）
- ・ 会 場 いわて県民情報交流センター（アイーナ）
- ・ 参加者 賛助会員・いわて観光おもてなしマイスター 47名
- ・ 講 師 （株）ザ・アール 専属講師 武川加留子
- ・ 内 容 おもてなしの心を伝える接客マナーの基本、職場で普及させるための指導法

イ 接遇研修会講師派遣事業 合計13回

実施日	実施団体	会 場	参加者
H28. 6. 6	ひめかゆ	焼石クアパークひめかゆ	ひめかゆ職員 23 人
H28. 6. 15	紫波まちづくり企画	ホテル湯楽々	紫波まちづくり企画 職員 15 人
H28. 7. 5	浄土ヶ浜パークホテル	浄土ヶ浜パークホテル	浄土ヶ浜パークホテル 職員 14 人
H28. 7. 26	大船渡市	カメラリアホール	大船渡地区観光関係 者 33 人
H28. 8. 1	住田町観光協会	住田町生活改善センター	住田地区観光関係者 13 人
H28. 8. 17	キャピタルホテル 1000	キャピタルホテル 1000	キャピタルホテル 1000 職員 13 人
H28. 11. 21	宮古観光文化交流協会	宮古ホテル沢田屋	宮古地区観光関係者 39 人
H29. 1. 18	花巻南温泉組合	湯の杜ホテル志戸平	志戸平温泉入社内定 者 10 人
H29. 1. 26	軽米町観光協会	軽米町立図書館	軽米地区観光関係者 18 人
H29. 2. 9	国民宿舎サンホテル衣川荘	衣川荘	衣川荘職員 10 人
H29. 2. 16	やぶ屋	やぶ屋	やぶ屋職員 10 人
H29. 2. 16	一関市	一関図書館	一関地区観光関係者 26 人
H29. 2. 27	岩手県ゴルフ連盟	盛岡グランドホテルアネ ックス	岩手県ゴルフ連盟加 盟ゴルフ場職員 28 人

ウ 改善活動勉強会

実施日	会 場	主な内容	参加者
H29. 1. 19	平泉ホテル武蔵坊	業務のフローチャート、フロント・館内表示の改善、トヨタ式生産方式の基礎等	13 人
H29. 2. 15	キャピタルホテル 1000	バックヤードの改善、見える化の重要性、トヨタ式生産方式の基礎等	11 人

7 「観光の日」事業

旧岩手県観光連盟が、西暦 2000 年を機に、5 月 16 日を県民一人ひとりが観光の持つ重要性を認識し、観光による地域づくりを考え、自ら取り組む契機となる「いわて観光の日」と定めているが、この日を記念して講演会を開催し普及、啓発を図った。理事長及び専務理事参加

- ・ 実施日 平成 28 年 5 月 16 日（月）
- ・ 会 場 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
- ・ 出席者 75 名
- ・ 講 演 演題 （一社）下呂温泉観光協会の地域活性化の取り組み
講師 一般社団法人下呂温泉観光協会 会長 瀧 康洋氏

IV 【国際観光推進】

1 外国人観光客誘致宣伝事業

(1) 外国人観光客誘致宣伝事業

本県の外国人旅行者誘致の主要なターゲットである台湾及びタイにおいて開催された旅行博等のうち、県が単独でブース出展した東北六県感謝祭「日本東北遊楽日 2016」及びジャパンエキスポタイランド 2017 に参加し、本県の観光宣伝を行った。

また、台湾といわて花巻空港間のチャーター便の増便や定期便化の要請、台湾と本県の観光交流の拡大を図るため、県が主催する観光ミッション団に参加した。

- ・ H28. 5. 29～ 6. 2 知事を団長とする関係団体訪問及び観光 P R 専務理事参加

主 催	会期・会場	来場者数等	参加概要（岩手県）
日本政府観光局 日本東北六県感謝祭実行委員会	H28. 12. 9～12. 11 (3 日間) 台北 華山 1914 文化創意産業園区	115,000 人 32 ブース	・ ブースでの観光相談対応（12/9～12/11） ・ 日本観光振興協会主催東北プロモーション（商談会・交流会）（12/8） 岩手県、岩手県観光協会、平泉町、花巻市、花巻観光協会、遠野市、遠野市観光協会、遠野ふるさと公社、雫石プリンスホテル、ホテル森の風鶯宿、安比高原、花巻温泉、ホテル志戸平、ホテルメトロポリタン盛岡、げいび観光センター他

G-Yu Creative	H29. 2. 10 ～ 2. 12 (3 日間) バンコク セン トラルワールド プラザ	500,000 人 151 団体出 展	・ ブースでの観光相談対応 (2/10～2/12) ・ 現地旅行会社へのセールスコール (2/13) 岩手県、岩手県観光協会、ホテル大観、愛真館、ホテル紫苑、花巻温泉、えさし藤原の郷
------------------	---	---------------------------	---

(2) タイメディア等招請事業

東南アジアの中で、訪日旅行者が急増しているタイにおける岩手県の知名度の向上を図るため、タイ人向け訪日促進TV番組を製作する会社に協力依頼し、本県での番組取材及びタイでの番組放送のほかメディアへの掲載を図った。

実施日	招 請 者	主な視察先等
H28. 6. 7～6. 12 (5 泊 6 日)	撮影チーム 3 名 (リポーター 2 名、カメラマン 1 名)	八幡平溶岩流、北山崎、龍泉洞、巖美溪、えさし藤原の郷、中尊寺他
H29. 2. 21～2. 24 (3 泊 4 日)	撮影チーム 4 名 (リポーター 2 名、カメラマンほか)	八幡平氷瀑ツアー、田野畑村サップ舟ツアー、毛越寺、狛鼻溪他

Bright TV「Daisuki Samurai Japan!」(30 分番組) 毎週土曜日 計 12 本 放送
(全て YouTube に動画掲載中)

2 外国人観光客受入態勢整備事業

(1) 国際チャーター便歓迎行事等

いわて花巻空港を離発着する国際チャーター便(台湾、タイ)の運航に応じて、「花巻空港国際チャーター便歓迎実行委員会」が、横断幕や幟旗の掲示、観光パンフレット等を贈呈するなどの出迎え、送迎デッキで見送りする等の歓迎対応を実施した。

また、春季、秋季の台湾中華航空チャーター初便やタイ国際航空チャーター便運航にあわせ、航空会社乗務員に記念品を贈呈するなどの歓迎セレモニーを行った。安藤会長及び専務理事セレモニー参加

区 分	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
合 計	入国便数	入国者数	入国便数	入国者数	入国便数	入国者数
	48 回	5,000 人	23 回	2,349 人	19 回	1,986 人
春季 (4～6 月)	23 回	2,454 人	17 回	1,497 人	15 回	1,397 人
夏季 (7～9 月)	1 回	242 人	- 回	- 人	- 回	- 人
秋季 (10～12 月)	15 回	1,129 人	6 回	852 人	4 回	589 人
冬季 (1～3 月)	9 回	1,175 人	- 回	- 人	- 回	- 人



春季タイチャーター便歓迎セレモニー



秋季台湾チャーター便歓迎セレモニー

(2) 「V」案内所運営（いわて・盛岡広域観光センター）

J R盛岡駅2階南口に設置されている「V」案内所の運営経費の一部を助成した。

(3) 台湾観光客受入態勢整備事業

いわて希望ファンドの助成金を活用して、本県を訪れる外国人観光客のうち、大半を占める台湾観光客の受入態勢を向上させ、一層の誘客につなげるため、旅行 AGT 等を招請して各施設に派遣し現地指導を行った。

実施日	実施内容	開催概要
H28. 11. 29～ 12. 3（3泊4日）	専門家招請による現地指導 招請者5名	一関市～陸前高田市～大船渡市～釜石市～ 大槌町～宮古市～盛岡市 専務理事参加



現地指導の様子



意見交換の様子

(4) タイ観光客受入態勢整備事業

いわて希望ファンドの助成金を活用して、本県を訪れる外国人観光客のうち、近年大幅に増加し、今後も増加が見込まれるタイ観光客の受入態勢を向上させ、一層の誘客につなげるため、旅行 AGT 等を招請して各施設に派遣し現地指導を行った。

実施日	実施内容	開催概要
H29. 1. 30～2. 3 (4泊5日)	専門家招請による現地指導 招請者5名	盛岡市～雫石町～八幡平市～平泉町～花巻 市～一関市 専務理事参加



意見交換の様子



現地指導の様子

3 北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営

北東北三県及び北海道が、共同で設置した韓国ソウル事務所の運営管理を実施した。また、韓国 AGT や韓国ブロガーを招請し、情報発信や旅行商品造成の促進を図った。更には、誘客

促進を図るためのツールとして、北東北三県及び北海道の魅力ある観光資源のプロモーション映像を制作した。

ア 韓国 AGT 連携ファム事業

レンタカーで周遊する旅行商品の造成促進を図るため、青森県、秋田県と連携して、韓国旅行エージェントを招請した。

実施日	招請者	主な視察先等
H28. 8. 31～9. 4 (4泊5日)	旅行会社4社4名	なまはげ館、佐藤陽助漆蔵資料館、角館、盛岡手づくり村、小岩井農場、松川温泉、奥入瀬溪流、八甲田、ワラッセ等

イ モニター招請事業

韓国内でアクセス数の高い人気ブログを作成しているパワーブロガーを招請して、韓国人30代・40代女子が喜ぶ食、体験、温泉等をテーマに、本県の魅力をブログ等で広く情報発信した。

実施日	招請者	主な視察先等
H29. 1. 22～1. 15 (3泊4日)	ブロガー3名	ふうせつ花、新安比温泉、サラダファーム、盛岡手づくり村、エーデルワイン・ガラス工房森のくに、新鉛温泉、林風舎、盛岡市内、南部美人、北のチョコレート工場2door、安比高原、安比高原スキー場

4 韓国旅行エージェント等招請事業

ゴルフと観光を組み合わせた新たな旅行商品を開発するため、韓国の旅行会社を招請し、県南・県央エリアのゴルフ場及び観光地を視察した。また、岩手県内の観光関係者との商談会を実施した。

実施日	招請者	主な視察先等	商談会
H28. 11. 4～11. 6 (2泊3日)	旅行会社4社4名、ソウル事務所1名	一関カントリークラブ、世嬉の一、一関温泉、厳美溪、北上カントリークラブ、瀬美温泉、雫石プリンスホテル（商談会）	県内観光関係者12名参加 専務理事参加

5 沿岸エリアへの韓国旅行エージェント等招請事業

ゴルフと観光を組み合わせた新たな旅行商品を開発するため、韓国の旅行会社、マスコミを招請し、沿岸エリアのゴルフ場及び観光地を視察した。また、岩手県内の観光関係者との商談会を実施した。

実施日	招請者	主な視察先等	商談会
H28. 12. 2～12. 4 (2泊3日)	旅行会社3社3名、マスコミ1社1名、ソウル事務所1名	盛岡市内ゴルフ店、浄土ヶ浜パークホテル（商談会）、宮古カントリークラブ、浄土ヶ浜レストハウス、浄土ヶ浜、浄土ヶ浜ビジターセンター	県内観光関係者13名参加

V 【 連携・支援 】

1 各種キャンペーン支援事業

(1) いわて観光キャンペーン推進費

いわて観光キャンペーン推進協議会に対して、負担金を支出した。

(2) いわてウインターリゾート協議会事業

いわてウインターリゾート協議会に対して、負担金を支出した。

(3) 各種キャンペーン支援事業

ア 観光関係催事への参加、出展

平成 28 年台風 10 号被災地応援キャラバン等、各種観光関係催事へ参加、出展し、観光 PR を行った。

《 主な対応状況 》

実施日	開催地	イベント名称等
H28. 4. 16～4. 17	愛知県	第 3 回日本各地の名産・観光地巡りフェア
H28. 7. 2～7. 3	東京都	東北プロモーション in 二子玉川ライズ
H28. 7. 7～7. 9	東京都	いわて産直市・上野駅
H28. 9. 3～9. 11 H28. 9. 30～10. 11 H28. 10. 22～10. 24	盛岡市	いわてまるごとおもてなしパビリオン in 盛岡(盛岡駅前広場) 理事長 9 月 30 日パビリオンオープニングセレモニー参加※希望郷いわて国体・希望郷いわて大会対応
H28. 9. 22～9. 25	東京都	ツーリズム E X P O ジャパン 2016 理事長及び専務理事視察
H29. 2. 13～2. 14	東京都	平成 28 年台風 10 号被災地応援キャラバン
H29. 3. 18～3. 20	大阪府	大阪モーターサイクルショー2017
H29. 3. 24～3. 26	東京都	東京モーターサイクルショー2017

イ 後援、共催

桜と雪の回廊観光キャンペーン「不動の滝まつり」(主催：(一社)八幡平市観光協会)等、46 イベント等に対する後援・共催を行った。



台風 10 号被災地応援キャラバン



東京モーターサイクルショー2017

2 魅力ある観光地づくり支援事業

下記の4団体が実施した地域の特色を生かした取組みを支援した。

支 援 先	事 業 内 容 等
一関温泉郷協議会	・地場産品による一関温泉郷共通食材味の共演プラン 特産品を一品選定し、各旅館で共通食材を盛り込んだ創作料理プランの販売を行う
八幡平市ホテル協議会	・岩手山・八幡平・安比高原「新・50 kmトレイル告知事業」 「新・50 kmトレイル告知事業」販促ツール（マップ）の制作
陸中海岸魚彩王国実行委員会	・魚彩王国観光交流セミナーの開催 講演会、意見交換会、オリジナルメニュー試食会の開催
住田ふるさと体験協議会	・住田い町ファン創出プロジェクト モニターツアーの実施による住田ファンの創出

3 県外事務所観光振興支援事業

東京、大阪、名古屋及び福岡の大都市圏において、本県への観光客の誘致を一層促進するため、岩手県の県外事務所が実施する誘致宣伝事業等を支援した。

県外事務所	主な実施内容
岩手県東京事務所	観光宣伝用物品等購入費、(公社)日本観光振興協会会議等負担金等
岩手県大阪事務所	観光宣伝用物品等購入費等
岩手県名古屋事務所	観光宣伝用物品等購入費等
岩手県福岡事務所	旅情報誌「遊人」の岩手の旅特集記事作成に係る取材経費への助成

4 (公社) 日本観光振興協会への拠出金

(公社) 日本観光振興協会に全国広域観光振興事業に係る拠出金を拠出した。

5 東北観光推進機構事業

東北七県・民間団体等で構成する「東北観光推進機構」に負担金を拠出し、オール東北による海外プロモーションや教育旅行の誘致活動などの国内外観光客の誘客促進に向けた事業を通じ本県への観光客の誘致、宣伝を図った。

6 北東北三県観光立県推進協議会事業

北東北三県等で構成する「北東北三県観光立県推進協議会」に負担金を拠出し、北東北一体となった広域観光マップの作成や合同での台湾教育関係者招請事業などの国内外観光客の誘客促進事業を通じ本県への観光客の誘致、宣伝を図った。

7 観光宣伝事業等負担

(公社) 日本観光振興協会、岩手県空港利用促進協議会、みちのく五大雪まつり推進協議会、

チャグチャグ馬コ保存会等の観光団体に対して負担金を支出したほか、台風10号の復興応援特集号として企画された「駅 - 1」グルメ第10号（H28.12月発行／三陸鉄道㈱ 駅 - 1 グルメ実行委員会）の発行に際し協賛金を支出した。

また、会員の現状やニーズを把握するため、会員への訪問活動を実施した。

事業報告の附属明細書

公益財団法人岩手県観光協会の平成28年度事業報告において、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。